

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏-1	(2)記載者氏名:	安井 康夫	会員番号:	8494	事務局整理記入欄	スキークラブ-9
分水嶺区分	E354孫兵衛山~黒岩山分岐手前下		(3)山行日:	2006年 5月2~4日		(4)天候:	晴

(5)参加者氏名および会員番号

早川 滉	5718	早川 英夫	8273					
東原 進	7514	安井 康夫	8494					
高原 三平	7949	福岡 孝昭	12185					
福土 節子	8147	日出平 洋太郎	13677					
小林 義亮	10302	費田 統亜(ゲスト)	6497					
計			10名		計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	七入~(実川)~大丈田代~台倉高山・孫兵衛山間の引返し点~黒岩山~孫兵衛山~七入												
アプローチ:	七入まで車使用												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	七入	燧ヶ岳	139	20	56.04	36	59	5.75	1,106.1		7:30	残雪あり	
	大丈田代付近	帝釈山	139	22	29.98	36	56	59.33	1,639.7	11:50	5:09		幕营地
分水嶺到達点	孫兵衛分岐手前下	帝釈山	139	24	39.15	36	55	38.13	1,990.1	8:34	8:41	3mの積雪	05.4.30到達地点
	黒岩山分岐手前下	川俣温泉	139	23	36.32	36	54	39.18	2,135.7	11:08	11:56	3mの積雪	04.9.12到達地点
分水嶺離別点 E354	孫兵衛山	帝釈山	139	24	19.15	36	55	47.00	2,069.9	13:43	13:52		
	大丈田代付近	帝釈山	139	22	29.98	36	56	59.33	1,639.7	16:16	7:59		幕营地
歩行終了点	七入	燧ヶ岳	139	20	54.39	36	59	7.46	1,096.0	9:58			
総歩行時間(休憩時間を除く):												14時間30分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E354	孫兵衛山				三角点は積雪のため確認不能。なお、三角点は中央分水嶺から外れている。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

入山コースの実川沿いには、営林署管理の林道が実川右岸に矢櫃沢橋(支流の矢櫃沢に架かった橋)よりもかなり先まで延びている。林道は一部荒れているところもあるが、無雪期でも歩行は可能と思われる。
--

(9)水および植生に関連した特記事項

入山コースの実川に沿った林道一帯は落葉松が多く、雪面には枯れた小枝が散乱。落葉松はこのようにして自ら代謝して春を迎えるのであろうか。
孫兵衛山一帯と中央分水嶺一帯はシラビソが生息。木々の状況は枯れ木もなく良好。

(10)その他の特記事項

2006.5.3をもって完全踏査
2005.4.30に到達した孫兵衛山・引馬峠間の地点では、前回取り付けた赤布を発見。
2004.9.12に到達した黒岩山北方に存在する三県県境の地点では、前回取り付けた赤布は雪の中で確認不能。
黒岩山の東北に延びる頂(2,137m)直下は、大岩がそそり立っており雪壁状態となっているが、傾斜の緩い雪面を左上して頂きに上がった。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
GPSによる全トラック
黒岩山に延びる中央分水嶺
2004.9.12到達地点に合流

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



GPSによる全トラック



黒岩山に延びる中央分水嶺



2004.9.12到達地点に合流